本蔵院からの季節のおたより

数々修習

［かくかくしゅうしゅう］

vol.02

平成二十八年 夏

- 皆様のお悩みをお聞かせください
- お盆参りのお知らせ
- 百万遍念珠回しに参加しませんか
- 五月の大祭のご報告
- 京都の本山よりお見舞いいただきました
- 英会話教室のお知らせ

数々修習とは？

道を求める事、つまり見道・求道を繰り返し繰り返し反復するという意味です。私住職もこのお便りと一緒に熟していければと思っております。

震災を受け、さまざまな声が寄せられています

お墓、仏壇、お位牌など供養に関する皆様のお悩みをお聞かせください

四月十四日、十六日に発生した「平成二十八年熊本地震」から、早いもので2カ月半が経ちました。県内各地で仮設住宅の入居も始まり、熊本県全体が少しずつ復興に向け歩みを進めている印象があります。

そんななか、檀信徒の皆様あるいはこれまでお付き合いのなかった方からの、仏壇やお墓などに関するさまざまなご相談が増えております。

今特に多いのは、仏壇や位牌、お墓の損傷、倒壊についてのご相談です。「仏壇が壊れている。仏壇を新しくする間、位牌をどこに置くのか。」「お墓が壊れ、お骨を自宅へ避難させた。今後、どう扱えばいいのか分からない。」といったお悩みが聞かれます。

また、仏壇や位牌、墓地などを修復や処分、移転する際には、僧侶の読経により仏様の魂を抜き、一度お浄土にお返しすること（撥遣（はっけん）供養）が必要です。仏壇や位牌、墓地を新しくしたときには、同じように僧侶が読経を上げ、仏様の魂を入れなければなりません（開眼供養）。この供養によって仏壇や位牌、墓地に初めて仏様が宿ります。そういったご供養についての相談も非常に多く寄せられています。

大きな震災によって、自分の行く先、あるいはご先祖様への供養について考えるきっかけになったという方も多いことでしょう。このような状況だからこそ、あらためて自分の家の供養のあり方を見直してみませんか。困ったこと、お悩みごとをぜひお聞かせください。

地震により倒壊した仏壇とお墓

皆様のこんなお悩みにお答えしています

○ **仏壇、位牌、墓地が壊れた**

処分ということになれば、仏様の魂を抜く「撥遣供養」が必要です。同様に、新しくしたり、移転したりした場合には仏様の魂を入れる「開眼供養」をいたします。

○ **お墓が倒壊し、お骨だけ手元にある**

○ **位牌だけが手元に残った、どう扱えばいいか**

お骨、位牌を一時的に本蔵院もしくは公園墓地菩提樹苑でお預かりします。もし今後の供養に不安をお持ちの場合は、永代供養についてもご相談に応じます。

○ **住まいを新しくしたいが、よい方位などを知りたい**

方角が悪いとされる場合に行う「方除（ほうよ）け祈願」、家内安全を祈る「家祓（やばら）い」などもお受けしています。

第二十世住職　藏本崇正

第二十世住職　藏本崇正　合掌拝

本年も七月十六日、八月十六日に勤修

万灯会（まんとうえ）ならびに施餓鬼（せがき）供養にお越しください

ご先祖をお迎えするお盆。お盆の終わりには、ご先祖様をお浄土へお見送りをする万灯会法要が行われます。各家先祖代々のお光が灯るなか読経が響き、ご先祖様を供養いたします。

送り火法要ということもあり、開始時間が夕刻となっています。遅い時間ではありますが、お子さん、お孫さんの手を引きお連れいただいて、ご先祖様を大事にするという心を後世へとつないでいただければ幸いです。特に初盆の方は、できるだけのご参加をお待ちしております。

また、施餓鬼供養の申込書、送り火の献灯についての申し込み用紙を同封しております。ご希望の方はお気軽にお申し込みください。

なお、「供音式（くおんしき：尺八の演奏）」は、八月十六日のみに行います。日本尺八連盟大師範の坂田鵬山先生による、荘厳な音色が本蔵院に響き渡るなかお参りをいたします。

◆万灯会 ならびに 施餓鬼供養

七月盆の方　七月十六日（土）　十八時～
八月盆の方　八月十六日（火）　十八時～
本蔵院本堂にて

申し込み：同封別紙を参照

※供養を申し込まれる方は前日までに申し込み用紙をファックスか郵送でお届けください。

※駐車場が少なく、皆様にはご迷惑をおかけしております。コインパーキングご利用の際は、本蔵院で駐車料金を一部負担いたします。スタッフにお申し出ください。

●お盆の供養をご希望の皆様●

ご自宅の仏壇もしくは本蔵院にてお盆の供養（棚経）をご希望される檀信徒の皆様は、期日（七月盆：七月初旬、八月盆：八月初旬）までに希望日および希望場所を本蔵院までご連絡ください。なお、初盆のご家庭を優先するといった事情でご希望に添えない場合もございます。何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

震災後、多くの方が集まりました

五月の大祭、無事に勤修いたしました

五月二十八日（土）、月例護摩祈願、五月の大祭が無事執り行われました。震災後間もなかったにも関わらず、七十名を超す参加がありました。

願い事と名前を書いた「護摩木」を、導師が一本一本祈念して焚き上げた後、参拝者が自らの手で護摩木をお不動様の火（智火 ちか）に投じていただく「内拝」も執り行いました。

また祈願後に、住職一家を熊本県民テレビ「テレビタミン」と、東海地方の中京テレビ「キャッチ！」が取材したニュース映像を流しました。本震直後に生まれた次女真緒ちゃんと坊守の牧子さん、長女の紗和ちゃんが一時期牧子さんの実家のある三重・名張市に避難しつつ、家族でつながっている様子を参拝者にご覧いただきました（本蔵院のウェブサイトでも視聴が可能です）。

最後は、お赤飯、切干し大根、スナップえんどうの胡麻和えなどのお接待。皆様と集まることができる有り難さに感謝し、じっくりと堪能しました。

内拝ができる次回の大祭は、九月二十八日（水）です。毎月二十八日の月例護摩祈願にもぜひお参りください。

本蔵院からのお知らせ

NEWS 01

京都の本山より、ご重役がお見舞いくださいました

熊本地震を受けて5月17日、京都の本山より真言宗醍醐派宗務総長である壁瀬宥雅様および、総務部長仲田順英様が、本蔵院をお見舞いくださいました。

また、熊本県内の他の醍醐派の寺院を訪問される際に、本蔵院住職、蔵本崇正がご案内させていただきました。温かい激励の言葉に、身が引き締まる思いがいたしました。お心遣いに、深く感謝いたします。

左から　総務部長、宗務総長、住職

NEWS 02

礼儀の心も学びます 英会話教室を開いています

本蔵院内で尚絅大学准教授のJosh Norman（ジョシュ ノーマン）さんを講師に迎えた就学前の子ども向けの英会話教室を開いています。歌や遊びを通して英語の楽しさを学ぶだけでなく、日本人としての礼節の心を育むことも大きな目的です。学ぶ子どもたちは皆門の前で一礼、履物をきちんと並べ、仏様にお参りするなど、心も大きく成長しています。

○ 日程：毎週 土曜　9:30～10:15（45分）
○ 場所：本　蔵　院
○ 月謝：4,000円
○ 対象：3歳～6歳
○ 定員：10名程度

ご希望の方は、お電話、メールにてお問い合わせください。

※本蔵院のお勤めや講師の都合上、日程が変更となる場合がございます。

英会話教室の様子

皆様のお声をお聞かせください

「数々修習」も2号目となりました。内容のご感想やご要望など、お聞かせください。また紙面でご紹介できるエピソードや、お子さん、お孫さんのお写真などございましたらお気軽にお送りください。お待ちしています。

〒860-0811 熊本市中央区本荘6-15-50
本蔵院「数々修習」編集室宛
◆ファックス 096-364-9570
◆メール info@honzouin.or.jp

発行元　本蔵院「数々修習」編集室
（担当／宮本ゆりこ）
〒860-0811 熊本市中央区本荘6-15-50
TEL 096-364-4848 / FAX 096-364-9570

光明真言講

百万遍の念珠の会に参加しませんか

十数人が円座になり、総数540珠が連なった直径3メートル以上の巨大なお念珠を、念仏を唱えながら回す「光明真言講　百万遍の念珠の会」を定期的に行っています。　この念珠は、本蔵院第十五世誠意法印の作で、すでに百年以上さかのぼる大変貴重な寺宝です。昨年の修復を機に、本蔵院では「光明真言講」を発足いたしました。お集まりの方々とともに、祈りを込めて念仏を唱え、一周一周回していきます。これからも、会の名の通り「百万遍」を目指して唱えてまいりたいと考えております。　また、光明真言講では、百万遍の大念珠に使う大珠への「名入れ」も勧進いたします。皆様の祈りを込めた大珠が、時代を超えて末代まで届くよう、寺宝として伝えてまいります。　皆様のご参加と、ご賛同をお願い申し上げます。

百万遍の念珠の会の様子

2016年7月1日現在
9659回
残り990341回

名入れをした大珠

今後の「百万遍の念珠の会」

7/28(木) 13:00～	7月の月例不動護摩祈願
8/16(火) 18:00～	送り火法要・お施餓鬼塔婆供養
8/28(日) 13:00～	8月の月例不動護摩祈願
9/22(木) 11:00～	秋のお彼岸会法要
9/28(水) 13:00～	9月の月例不動護摩祈願（大祭）

※事前申し込みは不要です ※参加無料です